

(1) これまでのごみ減量化・資源化の取り組みについて

○ ごみ減量化・資源化に関する、これまでの経過

平成 4 年度 生ごみの排出抑制（家庭用コンポストの普及促進）

(第 1 次)

平成 5 年 3 月 第 1 次 田川市ごみ減量化・資源化推進協議会 設置
 平成 6 年 4 月 田川市のごみ減量・資源化推進に関する提言 … 別紙 1
 平成 6 年 4 月 学校での空き缶回収（空き缶プレス車両導入）
 平成 8 年 4 月 ①ごみ処理手数料の指定袋導入と有料化実施
 ②分別収集の拡大及び徹底（缶・ビンを追加）
 （3 分類→4 分類：可燃、不燃、粗大+缶・ビン）
 ③資源回収奨励制度（古紙回収資源化）実施（1 kg あたり 5 円補助）
 新聞紙・雑誌、ダンボール

(第 2 次)

平成 13 年 11 月 第 2 次 田川市ごみ減量化・資源化推進協議会 設置
 平成 15 年 3 月 田川市のごみ減量化・資源化に関する提言 … 別紙 2
 平成 15 年度 生ごみの排出抑制（家庭用電動生ごみ処理機購入補助）
 資源回収奨励制度（古紙回収資源化）補助単価の引上げ
 （1 kg あたり 7 円補助に改定）
 平成 19 年 10 月 分別収集の拡大（ペットボトルとその他プラスチックを追加）
 （4 分類→6 分類）
 資源ごみ（缶・ビン）の処理手数料の引き下げ（半額）

 平成 23 年 6 月 生ごみの排出抑制（生ごみ処理容器等の購入補助改正）
 購入後 5 年を経過した場合にも再申請可能とした。

 平成 23 年度 生ごみのリサイクル（環境教育）
 大浦小学校にて家庭等で出た生ごみの堆肥化を畑で行い、生ごみの減量化と
 同時に有機野菜を育てる取り組み

 平成 23 年 6 月 使用済小型電子機器等回収事業実施
 希少な金属（レアメタル）を部品に使用している小型電子機器等の回収

 平成 25 年 7 月 ペットボトルキャップの回収（環境教育）
 市内・小中学校において、ペットボトルキャップの回収及び再資源化を実施

(第 3 次)

平成 25 年 11 月 第 3 次 田川市ごみ減量化・資源化推進検討委員会設置
 平成 25 年 11 月 田川市ごみ減量化・資源化検討委員会（第 1 回）
 平成 26 年 3 月 田川市ごみ減量化・資源化検討委員会（第 2 回）